

## オーナーblog 第7話 「英語授業ノート、製作の目標」 (2023.7.29.)

英語授業ノートの製作を続けていく過程で、品質へのこだわりが増してきた。対象の満足度・質問が激減する解説スライドショー・塾生全員がレベルアップする…こだわりだすと、問題構成など限られた紙面を最大限に活かす繰り返し思考になる。

シンプルで学習方法が習得できる“シリーズ・テキスト”にしていくことにした。簡単に言えば、使用者が、「次はどのような問題構成になっているか」予測できるものにするのである。つまり、予定調和で安心できるパターンを試行錯誤して形式化している。まずは夏期講習で、タブレットを使って試作品を自主学習してもらいたい。

現在の中1生は、24名と中学校の10名に1名がいくせい塾の塾生となっている。これは、創塾42年目にして最大の割合になる。予想外であるが、その期待に応えようと努力している。

私の眼から見て、大きく伸びそうな塾生が3割程度在籍している。しかし、成長が遅いことが気になっている。二学期には、自習棟利用者が3名程度は出ていて当然と思うのだが…。いくせい塾は、**自立型個別学習**が“売り”のはずである。

**自己責任→自己管理→自己実現**のプロセスは、13歳程度では可能になってくる。戦国時代の武士なら、“元服”している。

発展途上国では、家族のために責任を担って労働力になっている少年を多く見て来た。現役国公立合格や加古川東西高レベルを目指している塾生は、前進する時期だろう。スケジュール管理ノートを作成して、自習棟の使用を勧めたい。